

平成31年度 法人本部 事業報告

法人本部理事会運営について

基本的にスケジュール通りの理事会が開催され、理事長、各施設からの報告も適切に行われ理事会での討議も活発に行われたが、特筆すべき問題はなかった。新宮理事が任期半ばではあるが2020年3月を以って退任することになった。ご家庭の事情でやむを得ないことではあるが永年の理事活動に改めて謝意を表します。

法人事務局体制について

法人本部事務局は減員して3人体制（加藤・杉井・鈴木）のままで運営されてきた。

そのことにより特段の問題は生じていないが将来的展望を考えると早期に1名の補充を行う必要があるのではないか。

理事会の具体的取組課題

基本的課題

近年の理事会運営では施設運営に関する報告に基づいた討議が中心で経理データに基づいた予算執行状況に関する討議が不十分であった。

月次 B/S のとりまとめの遅れとデータ表示方法の不十分さが相まってタイムリーに討議できなかった。

特にデータの見やすい形での表示と、各理事が B/S を読み解く力量を身に着けることが計数に基づいた討議を活発化させるために必要ではないか。

各施設の運営状況に関しては監事によって不定期ではあるが課題を以って監査を行っていただいております。都度ご報告をいただいているが各施設とも運営上の問題点は特に報告を受けていない。各施設運営が順調に行われていることに感謝する。

情報発信について

法人だより発行開始から5年を経過し3月で20号を迎えた。内容については編集委員会で課題を決めて見やすさにこだわりながら苦勞して編集している。内容面については自信をもってはいるのであるが、記事に関しての反応が少ないので果たしてどこまで読まれているのかが不明である。独りよがりにならないためにどのように記事を取りまとめていくか、今後の努力が必要。

ホームページについてはこれまでのパソコンでの閲覧を中心とした表示を、スマホで閲覧しやすい構成に変更すべく検討中であるが目標を掲げて一年経過するがほとんど進んでいない。速やかに移行を完了させる。

それよりも問題は施設の発信する内容について情報のタイムリー発信がともの家のHPを除いては依然としてなされていないことである。毎年同じ指摘を繰り返しているがホームページの編集はそれぞれの施設に任せられている現状をどう変えるかが課題となる。

地域懇談会について

11月に三回目となる地域懇談会を開催したが内容は当初の内容と変化してきている。地域の状況をご報告いただいても、法人として対処できることは少なく、したがって参加者の発言も各施設に対してのご意見や要望、感想などの方が多かった。今後の開催に当たってはこれらを踏まえて内容を考慮する必要がある。

職員研修について

新入職員研修は例年通り開催された。なかなか年間の複数開催に至らないため入職後一定時間経過後の研修になる職員も多くタイムリーさに欠けるきらいはある。職場の実務研修とは異なる内容であることと、三施設合同であることであすなろ福祉会の全体像を理解してもらう機会でもあるので理事会主催としての新入職員研修は引き続き行う。

防災委員会について

2019年度より3名の理事により防災委員会が新たに発足した。初年度の取り組みとしては緊急時の施設と理事会の連絡網整備や三施設の防災規定などの確認が中心で具体的な中身の検討にまでは踏み込めなかった。討議の中で従来からの防災という概念が地震や風水害、火災などといった直接的な災害の他リスクマネジメントとしての危機管理へと範囲を広げた問題提起がなされてきている中で新型コロナウイルス感染症が全国に広がり施設も対応に追われる事態となった。2020年度において新型コロナウイルス感染症が終息した段階で各施設の対応を検証しながら今後のリスクマネジメントとして防災から危機管理へと内容も発展させていく必要を感じる。